

過去1年間の運営評議会等で委員からいただいた主なご意見等に対する取組み状況

＜救済業務＞

委員会	ご意見等の概要	取組み状況・今後の予定
令和元年度 第1回救済業務委員会	救済制度広報について、集中的広報期間に実施している取り組みは多角的であり素晴らしいが、テレビCMや新聞広告は費用がかかるため、SNSを活用し多くの人がアクセスしやすい環境を整えてはどうか。	昨年度の集中広報においてはWEBを用いた広報を積極的に活用し、「PMDA救済制度特設サイト」へのアクセス件数が前年度より大幅に増加したところである。SNSはスマートフォンの普及により利用者が多く、さらに双方向の情報発信ツールとして拡散性にも優れているという特性も踏まえ、今年度もさらに積極的に活用し、より効果的な広報を実施していきたい。
令和元年度 第1回救済業務委員会	「救済制度の確実な利用や迅速な救済を図る方策等を検討するための検討会」では、救済制度の確実な利用に繋げるため、どのくらいの方が制度を活用できているのかを調べて欲しい。どういうところが抜けているのか分かれば、ターゲットを絞った効果的な広報が実施できると思う。	昨年度設置した「救済制度の運用改善等に関する検討会」において、今年度から、健康被害の発生実態の把握の検討に着手するとともに、制度の確実な利用や迅速な救済を図る方策等について検討することとしている。
令和元年度 第1回救済業務委員会	薬袋にQRコードを入れて、スマートフォンのQRリーダーで簡単に副作用情報や救済制度にアクセスできるとよいと思う。このような取り組みを検討して欲しい。	昨年度の集中広報において薬袋を利用した広報を実施したところである。その際、薬袋の裏面にQRコードを付した救済制度の広告を掲載し、QRコードを読み取れば、「PMDA救済制度特設サイト」へアクセスできるようにしたところ。薬袋を利用した広報については、今年度も計画しており、より効果的なものになるよう検討してまいりたい。
令和元年度 第2回救済業務委員会	救済広報の特設サイトへのアクセスが、今年度、飛躍的に伸びた要因として新たに使われた誘導システムが効果があったとのことだが、アクセス件数の具体的な数値はあるのか。また、アクセスもデスクトップPCからなのか、スマートフォンからなのかがわかれば、次年度も効果的にできると思うがどうか。	令和元年度の特設サイトへのアクセス件数は621,456件(前年度:256,814件)であった。WEB広報については、メニュー毎に詳細な表示、クリック回数を把握しており、デバイスについても一部把握している。今年度も効果的な救済制度広報が実施できるようにこれらのデータを活用していきたい。
令和元年度 第2回救済業務委員会	(保健福祉事業の調査で副作用による)被害者が現在のどのような医療を受けているかを丁寧に聞き取りをして、治療の提供という側面から救済を図って欲しい。	昨年度設置した「救済制度の運用改善等に関する検討会」において、今年度、受給者のニーズ等を把握するためのアンケート調査を実施し、運用改善のための検討を行うこととしている。この調査の中で受給者が受けている医療についても質問項目を設ける予定である。